

からだの生活のために命の中で救われる

聖書：ローマ 1:17, 5:10, 18, 8:2, 29, 12:1-2, 4-5, 10-11, 14:17, 19

- I. 三一の神は三部分から成る人を創造して、命としての彼を入れる生ける器とならせ、彼が人性の中でご自身を表現するようにしました——創 1:26, 2:7, ローマ 9:21, 23。
- II. ローマ第 8 章は、三一の神（父、子、霊）がどのようにして命としてのご自身を、わたしたちの三部分（霊、魂、体）から成る存在の中に分与して、わたしたちを彼の子たちとならせ、キリストのからだを構成するかを明らかにしています—— 2, 6, 10-11, 14 節, 12:4-5。
- III. クリスマン生活は、絶えずキリストの神聖な命の中で救われる生活です。キリストは、手順を経た三一の神の具体化です—— 5:10, コロサイ 2:9, ピリピ 1:19, 28, 2:12。
- IV. 命の中の神の救いの基礎は、神の義です。彼の救いには彼の義の堅固な土台があり、この義の土台の上で、わたしたちは命の中で救われつつあります——ローマ 1:16-17, 5:10, 18, 詩 89:14。
- V. キリストの神聖な命の中で救われることは、罪の法則（ローマ 8:2）、この世の現在の時代（12:2 前半）、わたしたちの天然の存在（2 節後半）、個人主義（4-5 節）、わたしたちの自己の様式（8:29）、わたしたちの卑しい体（ピリピ 3:21）から救われることを含みます。
- VI. 命の中で救われる道は、主の御名を呼び求めることです。わたしたちは主を呼び求めて彼の豊富を経験すればするほど、ますます彼の命の中で救われます——ローマ 10:12-13。
- VII. 命の中の神の救いは、わたしたちの存在の深みに触れます。彼の救いは、わたしたちの天然、天然の命にあるわたしたちの個人主義、わたしたちの天然の命の表現に触れます—— 12:2-5, 8:29。
- VIII. わたしたちは死から（あらゆる種類の消極的な事を含めて）、命の中で救われる必要があります—— 5:10, 12, 14, 21, ヘブル 2:14 :
 - A. 死は神の神聖な標準にしたがって、彼の要求を成就する能力に欠けることです——マタイ 5:48 :
 1. わたしたちは命の中で救われて、生き、有能であり、エネルギーと能力に満ち、神の神聖な標準にしたがって、彼の要求を満たす必要があります——ヘブル 7:25, ローマ 5:10。
 2. キリストの神聖な命の中で、わたしたちはすべての弱さと無能から救われ、神の神聖な標準にしたがって、彼の要求に応じます—— 8:3-4。
 - B. わたしたちがキリストを通して神から受けた命は、復活の命です——ヨハネ 11:25, ピリピ 3:10 :
 1. わたしたちが所有している命は、復活の力を伴う命です。この命は死の中に置かれ、死を経過することによって、試されてきました——啓 1:18, 2:8。
 2. わたしたちは命の中で救われるために、主の復活の命の力を知り、経験する必要があります——II コリント 1:9, ピリピ 3:10-11。

3. わたしたちがキリストの復活の命の中で救われれば救われるほど、ますますこの命はわたしたちの存在の中の死を飲み尽くします——ローマ 5:10. I コリント 15:26, 54-55。

IX. わたしたちはからだの生活のために、天然の命の独立と個人主義から救われる必要があります——ローマ 5:10. 12:4-5 :

- A. わたしたちが独立し、分かれ、分離しているのは、命に欠けているからです :
1. エゼキエル第 37 章 1 節から 8 節の骨が分かれ、ばらばらになり、分離して、完全に独立し、単独であったのは、命がなかったからです。
 2. わたしたちの内側の死は、わたしたちを独立させ、単独にし、人と組み合わせられるのを願わないようにします。
 3. 命の中で救われてはじめて、わたしたちは共に結合されて一つからだとなり、共に建造されて一つからだとなります—— 9:14 節. エペソ 4:16. コロサイ 2:19。
- B. 命の中の神の救いは、わたしたちを天然の命の個人主義から救い出して、わたしたちがからだの生活をし、からだの中で共に建造されることができるようになります——ローマ 12:4-5 :
1. わたしたちの天然の命は、個人主義的で、わたしたちがからだの生活を願わないようにします——ピリピ 2:21。
 2. 個人主義は、他の人と一にならないという哲学、理念、原則です。他の人と合わないこと、また他の人と一にならないことは原則となり、それが個人主義です—— I コリント 12:21-22。
 3. わたしたちは組み合わせを通して、自分の体を生きた犠牲としてささげることによって、また自分自身について思い上がらないことによって、わたしたちの天然の命の個人主義から救われます——ローマ 12:1-3, 10。
 4. わたしたちは命の中の神の救いを経験するとき、もはや孤立したり個人主義的になったりすることができず、天然の命の個人主義から救われ、自分自身を忘れて他の人を顧み、キリストのからだの中へと建造されることができず—— 15 節. 14:19. 15:1-2. I コリント 12:14-27. 10:24. エペソ 4:16。

X. わたしたちは命の中で救われた結果、地方で召会生活をして、自己の見解、自己の目標、分裂から救われることができます——ローマ 14:1-19. 15:5-7 :

- A. 異なる見解と意見は異なる目標を生み出し、これらの異なる目標は、召会が建造されるのを妨げます。わたしたちの見解と目標から救われることによって、わたしたちは分裂から救われ、こうして召会生活の中でからだの生活を實行することができます—— 12:4-5. 16:1, 4, 16。
- B. わたしたちが召会生活をするのは地方的ですが、わたしたちの交わりは地方的であり、また宇宙的であるべきです—— 1, 16 節後半, 22-23 節。
- C. わたしたちは召会生活をするとき、神が受け入れることにしたがって (14:1-3)、裁きの座の光の中で (10, 12 節)、愛の原則の中で (12:10, 14:15)、王国の生活にしたがい (17 節)、キリスト・イエスにしたがって (15:5)、キリストにあるすべての信者を受け入れなければなりません。